

放課後等デイサービス真愛 自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月1日

事業所名 放課後等デイサービス真愛

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7		職員の配置基準を満たしている。	細やかな配置計画の継続に努めたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6	フロアの通路に段差があり、通過の際に注意喚起している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		毎日の活動記録やミーティング議事録を通じ、常勤・非常勤問わず意見を取り入れるようにしている。	祝日も開所しており、全職員でのミーティングが困難な場合は活動記録やミーティング議事録等を利用して情報共有し、職員全員が参画できるよう現状維持しつつ、さらなる発展に努めたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者向け評価表や連絡帳等を利用して保護者の意見を把握し、改善に努めている。	保護者向け評価シートや連絡帳・連絡ノート等を活用し、今後も保護者の意向把握に努めたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	現在外部評価は行っていない。	必要に応じて今後、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		全職員の研修機会を確保している。内部研修も実施している。	非常勤職員の参加にも配慮し、社内研修を行っている。議事録を残し、研修に参加できなかった職員には必ず確認をしてもらっている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		利用開始時に必ずアセスメントを行っている。担当者会議や保護者との意見交換からも情報を集めている。	アセスメントを適切に行い、正しい情報に基づいて、保護者と利用者のニーズや課題を客観的に分析し、放課後等デイサービス計画作成に努める。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		統一したアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		複数名の職員が意見を交わしながら活動プログラムを立案している。	今後も児童発達支援管理責任者統括の下、複数名で立案、実施していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		季節の行事を取り入れたり、新しいアイデアを出しながら、子供の発達に応じて気を配るようにしている。	今後も活動プログラムが固定化されないように複数名で立案、実施していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		平日には日常的に継続する必要がある課題を、長期休暇等では時間をかけて取り組める課題にするなど、状況に応じて設定している。	今後も子供にこの状況に合った課題を設定するように配慮していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		子供たちの発達に応じて個別活動、集団活動を組み合わせて計画している。	今後も子供たちの変化に目を向け、障がい特性を考慮しながら、個別活動・集団活動を適宜組み合わせて計画していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		支援開始前にミーティングを行い、参加できなかった職員については議事録等で共有している。	今後とも支援開始前のミーティングを継続し、職員全体で情報共有に努めたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		日々の活動記録を通じて支援を振り返り、情報共有している。	今後も、その日の振り返りで気づいた点は活動記録を残し、翌日のミーティングにて情報共有していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切 な 支 援 の 提 供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		利用者ひとりひとりの活動記録をその日に関わった職員全員で記録している。	事実の記録を取ることを意識して活動記録を残していく。また事実に基づいた検証から、より最善の改善策を導き出して日々の支援につなげていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		6ヶ月に1度実施している。	今後も定期的なモニタリングを継続し、且つ保護者とのコミュニケーションから計画の見直しの必要性を見極めるなど、最善を尽くしたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7		創作活動や季節を取り入れた活動、基本的日常動作を取り入れた活動など、複数を適宜に組み合わせさせて活動プログラムを作成している。	厚生労働省のガイドラインに記されている基本活動指針として、今後も支援を継続していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		子どもの状況に精通した相応しいものが参画するように努めている。	今後も継続して担当者会議には最も相応しい者が参画していきたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		学校情報は保護者を通じて行っている。学校の送迎時にできる限り先生とお話しする時間を取って情報共有を図っている。	今後も継続して情報共有、連絡調整に努めたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6		医療的ケアの必要な子供や重症心身障害の子どもが現在利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や 保護者 との 連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		学校卒業前の担当者会議にて情報共有を行っている。 情報提供に応じられるように卒業後もある程度の期間は活動記録を残している。	要望があれば速やかに対応したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6	現在は特に行っていない。	今後必要があった場合には専門家と連携していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	公園へのお出かけ等、活動を通じて間接的に障害のない子と触れ合う機会はあるが、積極的にそのような場を設けていない。	保護者より障害のない子たちとの交流を望まない声も聞かれる。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		7	現在は参加していない。	今後、検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		デイ日誌や連絡ノート、送迎時等で情報共有し、必要に応じて子供の状況について情報交換を行っている。	今後も継続して保護者との円滑なコミュニケーションに心がけ、保護者に寄り添い、子供の発達の状況や課題に向き合っていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	6	保護者からご相談があれば、事業所内で検討したうえでアドバイスしている。	保護者の困りごと、その他ご相談に真摯に向き合い、気持ちに寄り添った支援をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約締結時に具体的に、且つわかりやすく伝わるように丁寧な説明を心がけている。	今後も丁寧な説明に努めたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		ご相談があれば真摯に対応している。担当者一人では適切な助言ができない場合は事業所で回答を模索したうえでアドバイスをお返ししている。	今後も保護者の悩みに寄り添い、必要な助言や支援を行っていききたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	現在は行っていない。	要望があれば検討していききたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		迅速かつ適切に苦情対応に当たっている。	今後も申し入れに対して真しに受け止め、職員間で話し合い、迅速かつ適切に対応していききたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	活動予定表、行事予定を毎月配布している。活動の概要については連絡帳にや連絡ノートに記載してお知らせしている。	今後も活動予定表等で発信していききたい。
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報が記載している文書については鍵付きのロッカーで保管し、破棄する際にはシュレッダーを使うなどして取扱いに注意している。	日々の様子をカメラで撮影し、プリントアウトして各家庭に配布している。写真を撮ることについて、事前に保護者の承諾も頂いており、最新の注意を払っている。今後も継続して行っていききたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		障害特性を理解し、意思の疎通や情報伝達に配慮している。	利用頻度が少なく保護者からの情報発信が少ない場合でも、事業所として積極的に相互コミュニケーションを取るべく配慮や環境作りをしていききたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	現在特に行っていない。	要望があれば検討していききたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		各マニュアルを作成し、確認できるようにしている。保護者には契約時やモニタリングの際にお伝えしている。	今後も継続してお伝えしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		一年に一度を目安に避難訓練を行っている。	本年度は令和6年9月28日に大地震を想定した避難訓練を行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		研修会に参加し、そのような事例を情報として見聞きした際には注意喚起している。	全職員の研修機会の確保に社内研修を実施している。 本年度は令和7年2月23日に実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		身体拘束の3要件を職員全員で確認し、支援の向上に努めている。	現状において、身体拘束を必要とする利用者はないが、今後そのようなことが必要になる場合も含めて、職員全員で研鑽に努める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		指示書や保護者の申告に基づいて対応している。	今後も継続して対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット事例を記録し、職員間で共有している。	怪我や事故の危険性を予測できる場面ではヒヤリハットを作成し、情報共有を徹底して事故を未然に防ぐことに努めたい。